

生活保護のしおり

＜ 相談・申請をされる方のために ＞

知っていただきたいことや手続きについて
書いてありますので 必ず読んでください

1	生活保護とは	P 1
2	生活保護の開始までの流れ	P 2
3	生活保護の種類としくみ	P 3
4	生活保護を受ける方の権利	P 4
5	生活保護を受ける方の義務	P 5
6	保護費の費用返還と費用徴収・罰則	P 7



おきなわけんちゅうぶふくしじむしょ 生活保護班
沖縄県中部福祉事務所

〒904-2155 沖縄市美原1丁目6番28号

電話 098-938-9709

FAX 098-938-9789

●生活保護とは●

生活保護は、生活に困っている国民の健康で文化的な最低限度の生活を保障し、将来に向けて自立した生活が送れるよう支援することを目的として、国が日本国憲法第25条や生活保護法にもとづいて行うものです。

生活保護は、世帯員が生活をささえるために努力をしても生活できないときに受けることができます。

そのためには次の①～③の要件を満たさなければなりません。また、④については、生活保護に優先して活用するよう努めてください。

① 稼働能力の活用

世帯の中で働ける人は、能力に応じて働いて収入を得てください。

ただし、病気や障害、その他の理由で働けない人は、その課題解決（療養専念や就労支援）を優先とします。

② 資産の活用

利用できる資産（生活必需品以外の不動産、預貯金、自動車、生命保険、貴金属、船舶等）はすべて生活費に充ててください。

※ なお、住居用の不動産は原則として保有が認められます。また、個別の事情により、自動車、オートバイ、生命保険、学資保険の保有が認められる場合がありますので、ご相談ください。

③ 他法他施策の活用

生活保護法以外の法律、制度などで支援が受けられるものはすべて活用してください。（年金、手当、失業給付金、傷病手当金、労働者災害補償金など）

④ 扶養義務者からの援助

夫婦、親子（離婚後の子の父、母も含む）、兄弟姉妹などから援助を受けることができる場合は受けてください。

なお、DV（家庭内暴力）や虐待など特別な事情がある場合には、親族への調査を見合わせることもあるので、事前にご相談ください。

● 生活保護の開始までの流れ ●

さまざまな理由で、生活が成り立たなくなってしまうことがあります。
 そんなときには、福祉事務所に相談ください。生活保護の受給が始まる
 までには、以下の手続きになります。

① 相談

お住まいの地域の福祉事務所 または 町村役場生活保護
 担当課にご相談ください。

② 申請

生活保護を受けたい方は、申請書を提出してください。

③ 調査

生活や資産の状況などを調査し、生活保護が受給できる
 かどうか審査します。

④ 受給開始

生活保護が決定したら、保護費の支給が始まります。また、
 ケースワーカーによる支援が開始されるため、定期的な
 家庭訪問や必要書類の提出に応じてください。

① 相談



生活や資産の状況、ご親族との交流状況などを確認させていただきます。
 プライベートな部分もあるため、お話は可能な範囲で構いません。来所だ
 けではなく、電話での相談もできます。

② 申請



本人の意思で申請することが必要です。ただし、何らかの事情で本人が申請
 できないときは、親族などが代理で申請することもできます。
 申請に伴い、調査に必要な書類や資産状況が確認できる資料などを求める
 ことがあります。

③ 調査



調査の中で、① 稼働能力、② 資産、③ 他法他施策の活用状況、④ 扶養
 義務者からの援助（P1参照）を確認します。
 その結果、生活費、住居費、医療費などの最低生活費と世帯の収入を比較
 し、収入が最低生活費に足りない場合、生活保護が受けられます。

【結果通知】

申請した日から原則として14日以内（特別な事情で調査に時間を要する場合
 には最長で30日以内）に生活保護が受給できるかどうかの結果が通知されま
 す。

●生活保護の種類としくみ●

1. 保護の種類

生活保護には、次の9つの扶助があり、届け出や申請により必要に応じて扶助を受けることができます。

①生活扶助

生活を営むための食費や光熱水費等の費用



⑤介護扶助 (指定介護機関)

介護サービスのための費用



②住宅扶助

家賃、地代のための費用 (家屋補修費・転居の際の敷金を含みます。)



⑥出産扶助

お産のための費用



③教育扶助

義務教育のための費用



⑦生業扶助

仕事を始めるときや資格をとるための費用
・高校等就学費



④医療扶助 (指定医療機関)

病気治療のための費用 (治療材料・移送費・柔道整復を含みます。)



⑧葬祭扶助

お葬式のための費用 (葬儀を行う方の申請が必要です。)



⑨一時扶助

一時的な需要のための費用 (被服費 (紙おむつ・新生児被服費 等)・家具什器費・移送費・入学準備金・配電設備費・水道設備費など)

※ 上記扶助の支給には一定の条件や上限額があり、支給できない場合がありますので、福祉事務所のケースワーカーへ必ず事前に相談してください。

※ 医療扶助、介護扶助については、収入等により費用の一部又は全部が自己負担となる場合があります。

2. 保護費のしくみ

保護は原則として世帯を単位として行われます。世帯の状況に応じて、国が決めた最低生活費（世帯員数、年齢、地域によって異なる。）と世帯全体の収入を比べて、足りない分を生活保護費として支給します。

なお、最低生活費には必要に応じて各種加算が付けられます。（「障害者加算」、「児童養育加算」、「介護保険料加算」、「母子加算」など）

<保護が受けられる場合>

さいていせいかつひ 最低生活費	—	しゅうにゅうにんていがく 収入認定額	=	ほごひ 保護費
さいていせいかつひ 最低生活費				
しゅうにゅう 収入		ほごひ 保護費		

★収入とは?★

次のページ2 - (1) に詳しく記載しています。そちらをご確認ください。

収入が最低生活費を下回る場合、不足分のみ保護が受けられます。

<保護が受けられない場合>

さいていせいかつひ 最低生活費
しゅうにゅう 収入

収入が最低生活費を上回る場合、保護は受けられません。

●生活保護を受ける方の権利●

生活保護を受ける方には、次のような権利が保障されます。

- (1) 条件を満たせば、すべての方が平等に生活保護を受けられます。
- (2) 正当な理由なく、保護費が減額されたり、生活保護を受けられなくなることはありません。
- (3) 受け取る保護費や保護の物品に対して、税金がかけられたり、差押さえられたりすることはありません。

※ 申請に対する結果通知の内容に不服があるときは、その決定を知った日の翌日から起算して、3か月以内に県知事に対して、審査請求（不服申立）することができます。

●生活保護を受ける方の義務●

1. 生活上の義務

- (1) 働ける人は能力に応じて働いて収入を得なければなりません。
- (2) 病気の人は、医師の指示を守り、病気療養に努めてください。
- (3) 支出の節約を図り、生活の維持・向上に努めてください。
(パチンコ、スロットマシン、飲酒などでの浪費はいけません。)
- (4) 住宅の家賃、給食費や教材費などはそれぞれの目的のために支給しているものですから、滞納がないようにしてください。

2. 各種届出の義務

生活保護を受ける方は全ての収入を届け出なければなりません。また、生活状況に変化があったときにも、必ず届け出をしてください。
次のような場合は、ケースワーカーに届け出てください。

(1) 収入があったとき

- ◎ 賃金・給料、ボーナス、退職金など

※ 高校生や受験浪人のアルバイト収入も申告しなければなりません。

世帯主(保護者)が責任をもって申告してください。

- ◎ 傷病手当金、雇用保険金、労災保険金、生命保険金など

- ◎ 年金、恩給、児童手当、児童扶養手当、奨学金など

- ◎ 仕送り、見舞金、慰謝料などの臨時収入、その他あらゆる収入

※ 保護受給中の借金もすべて収入になります。

※ 収入のうち福祉事務所から事前の承認があれば、収入として認定しない

取り扱いができる場合があります。

(2) 世帯や生活に変わったことがあったとき

- ◎ 転入、転出、出産、死亡など世帯員数が変わったとき

- ◎ 就職、失業、転職、進学したとき

- ◎ 家賃、地代が変わったとき(転居するときは事前に相談してください。)

- ◎ 入院・退院したとき

くるま しょう ぶんてん 車を所有したり運転することはできません！

せいかつ ほご う かた くるま しょう ひと くるま か ぶんてん
生活保護を受けている方は、車を所有したり、ほかの人の車を借りて運転
することは認められません。スーパーの買い物などでの使用もできません。
なぜなら生活保護は、生活に困っている方の最低生活を保障する制度です。
くるま しょう
車を所有すると、

- 1 まいつき ねんりょうひ ふたん
毎月の燃料費が負担となる
- 2 しゃけん じばいせき にんいほけんかにゆう ひよう
車検・自賠責や任意保険加入に費用がかかる
- 3 くるま しゅうりひ とつぜん ししゅつ ふたん
車の修理費は、突然の支出となり負担になる
- 4 じこ おこした ばあい いりょうひ じこ ふたん
事故をおこした場合、医療費が自己負担になる



など、生活に大きな負担となり、最低生活が保てなくなります。

また、保護を受けていない住民から最低生活以上の暮らしをしているとの誤解を招くこととなります。

もし、車を所有したり、借りて運転していることがわかった場合は、生活保護の停止や廃止をすることがあります。

ただし、次の場合などは所有、使用が認められることもありますのでケースワーカーに相談してください。

- 1 じえいぎょう うんそうぎょう はいたつ つか ばあい
自営業（運送業・配達など）に使う場合
- 2 くるまいがい つうきん ほうほう まった また つうきん こんなん
車以外に通勤する方法が全くないか、又は通勤することがきわめて困難
で、その所有が社会的に適当と認められる場合
- 3 しょうがいしゃ つういん りよう う こうきょう こうつうきかん まった また
障害者が通院などで、利用し得る公共の交通機関が全くないか、又は
公共の交通機関を利用することができず、車以外に通院などがきわめて
困難な場合

※ 125cc以下のオートバイは一定の要件のもと保有が認められます。

● 保護費の費用返還と費用徴収・罰則 ●

1. 費用返還

資力があるにもかかわらず保護を受けたときや次のような場合などには、既に支給された保護費の範囲内で、福祉事務所の定める額を返還しなければなりません。

- ① 土地、建物、車などを売却したとき
- ② 年金や手当などをさかのぼって受給したとき
- ③ 生命保険を解約したり、保険金を受け取ったとき
- ④ 事故などによる損害賠償金を受け取ったとき

※ なお、自立助長の観点から返還を一部免除できる場合もありますので、事前にご相談ください。

2. 費用徴収・罰則

不正な手段（収入がありながら申告しなかったり、少なく申告したときや嘘の申請など）により保護を受けたり、または他人に受けさせた者は不正受給として、それまで支給された保護費の範囲内で不正受給した額の全額、または一部を徴収されます。また、生活保護法や刑法によって厳しく処罰される場合があります。

★ 支給された保護費の範囲内とは？ ★

実際に支給された保護費だけではなく、現物給付された医療扶助や介護扶助等を含みます。

医療扶助については、原則 医療費の10割が対象となります。



● **相談・支援を行う機関** ●

福祉事務所では、役場など関係機関と一緒にみなさんが自分たちの力で生活できるように手助けします。お気軽にご相談ください。

(1) 町村役場

- ・ 国民健康保険、国民年金、介護保険料、住民税、その他相談 → 代表電話番号
- ・ 生活保護、老人ホーム入所、身体障害者福祉の相談等 → 福祉担当課

町村名	代表電話番号	福祉担当課	電話番号
1 恩納村	098-966-1200	福祉健康課	098-966-1207
2 宜野座村	098-968-5111	健康福祉課	098-968-3253
3 金武町	098-968-2111	保健福祉課	098-968-3559
4 読谷村	098-982-9200	福祉課	098-982-9209
5 嘉手納町	098-956-1111	福祉課	098-956-1111
6 北谷町	098-936-1234	福祉課	098-936-1234
7 北中城村	098-935-2233	福祉課	098-935-2233
8 中城村	098-895-2131	福祉課	098-895-1738

(2) 社会福祉協議会…障害者や高齢者等の金銭管理、福祉サービスの相談など

名称	電話番号	住所
1 恩納村社会福祉協議会	098-966-1193	恩納村字恩納6302
2 宜野座村社会福祉協議会	098-968-8979	宜野座村字惣慶1898
3 金武町社会福祉協議会	098-968-3310	金武町字金武1842
4 読谷村社会福祉協議会	098-958-2939	読谷村字座喜味2975
5 嘉手納町社会福祉協議会	098-956-1177	嘉手納町字水釜447-1
6 北谷町社会福祉協議会	098-936-2940	北谷町字吉原26-6
7 北中城村社会福祉協議会	098-935-4520	北中城村字仲順451
8 中城村社会福祉協議会	098-895-4081	中城村字安里187-1

(3) その他相談先

名称	電話番号	住所	相談内容
1 コザ年金事務所	098-933-2267	沖縄市胡屋2-2-52	年金の諸届出・相談等
2 名護年金事務所	0980-52-2522	名護市東江1-9-19	年金の諸届出・相談等
3 法テラス沖縄	050-3383-5533	那覇市楚辺1-5-17 2・3F	債務・不動産相談など
4 沖縄県就職・生活支援 ハ・ソナルサ・トセンター中部	098-923-0881	沖縄市美原1-11-3	自立生活支援、就労支援の相談など

MEMO

A large, empty rounded rectangular box with a blue border, intended for writing a memo. The box is centered on the page and occupies most of the vertical space below the title.